

## 狩猟鳥獣の次回見直しに係る検討用資料について

赤枠は、前回見直し検討時には使用しなかったが、次回見直し時には活用可能と考えられるモニタリング情報（以下同じ）

(1) ウズラ (*Coturnix japonica*)

## 【レッドデータブック】

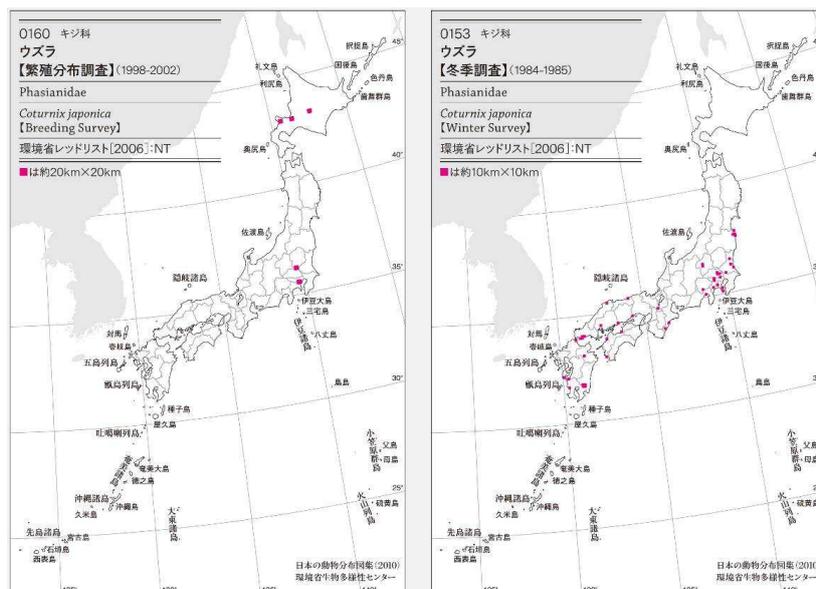
環境省：VU

都道府県：(34 都道府県)

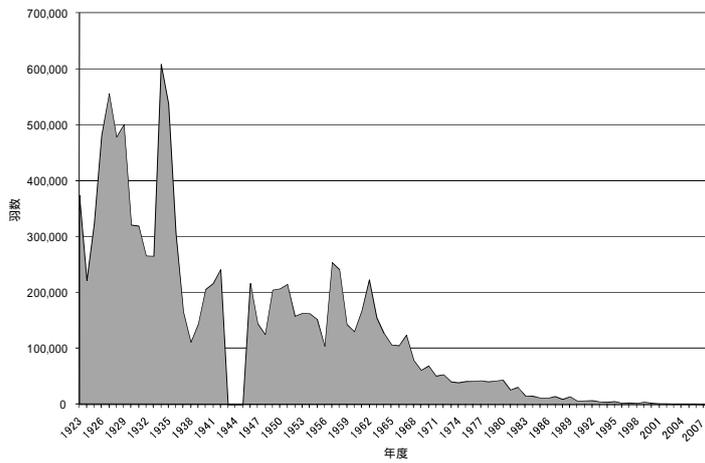
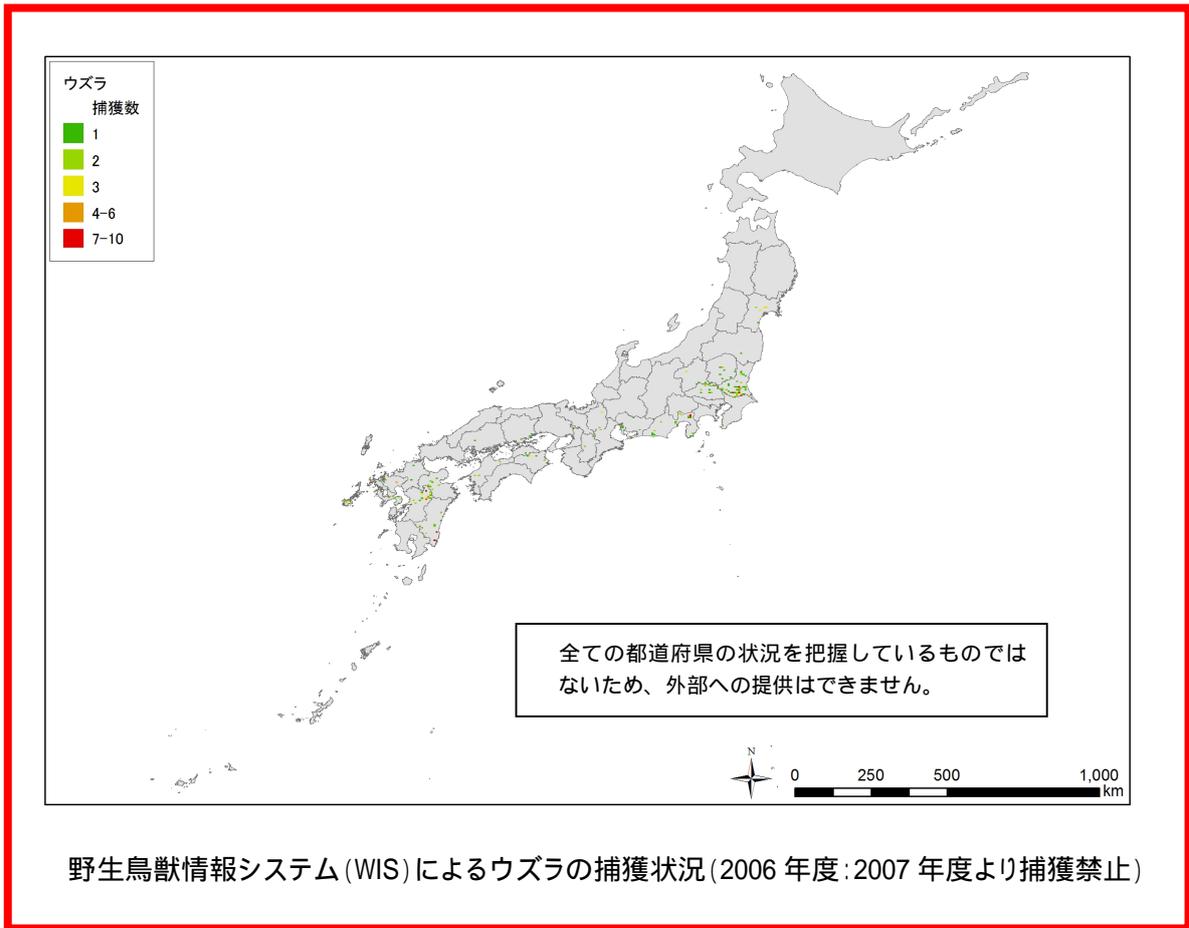
北海道・東北（5 道県）	北海道（R）・青森（A）・岩手県（B）・宮城県（CR + EN）・福島県（A）
関東・甲信越・北陸 （10 都県）	栃木県（A）・群馬県（EN）・埼玉県（EN）・千葉県（A）・東京都（区部：CR、北多摩：CR、南多摩：CR、西多摩：CR）・神奈川県（絶滅危惧類）・富山県（情報不足）・福井県（要注目）・山梨県（DD）・長野県（CR）
中部・東海・近畿 （7 府県）	静岡県（VU）・愛知県（VU）・三重県（DD）・京都府（絶滅寸前種）・大阪府（絶滅危惧Ⅰ類）・奈良県（絶滅寸前種）・和歌山県（準絶滅危惧）
中国・四国（6 県）	岡山県（情報不足）・山口県（NT）・徳島県（絶滅危惧類）・香川県（DD）・愛媛県（DD）・高知県（EN）
九州・沖縄（6 県）	福岡県（情報不足）・長崎県（DD）・熊本県（DD）・大分県（DD）・宮崎県（VU）・鹿児島県（情報不足）

## 【生息状況等】

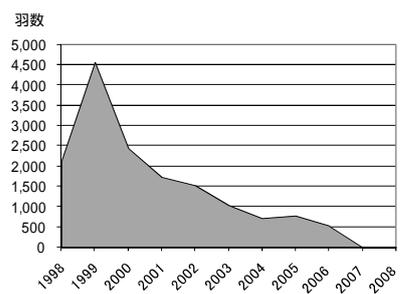
おもに本州中部以北で繁殖し、中部以南で越冬する。九州でも繁殖例がある。北海道や東北で繁殖したものは冬季には日本の南部や東南アジアへ渡るが、大陸から渡ってきたものも日本で越冬する。



第6回基礎調査(左)及び第3回基礎調査(右)分布図(ウズラ)



ウズラの狩猟個体数の推移



近年の推移

## これまで実施した試行調査結果一覧

調査年度	調査時期	調査地域	調査地環境	調査日	確認数		
					プレイバック	ルートセンサス	犬追い出し
H20 (2008)	非繁殖期	熊本県阿蘇	放牧草地	2009年3月7日	-	-	1
H21 (2009)	繁殖期	北海道石狩川	河川敷	2009年6月6・7日	4	3	-
		青森県岩木川	河川敷	2009年6月8・9日	0	0	-
		群馬県利根川	河川敷	2009年6月1・2日	0	0	-
	非繁殖期	熊本県阿蘇	放牧草地	2009年12月9日	-	-	10
		宮崎県一ツ瀬川	放棄水田	2010年1月6日	-	-	7
H22 (2010)	繁殖期	北海道石狩川	河川敷	2010年6月16・17日	8	1	-
		青森県仏沼	放牧草地	2010年6月19日	0	0	-
	非繁殖期	熊本県阿蘇	放牧草地	2011年1月13日	-	-	3
		宮崎県一ツ瀬川	放棄水田	2011年1月12日	-	-	0
H23 (2011)	非繁殖期	熊本県阿蘇	放牧草地	2012年1月12・13日	-	-	2
		宮崎県一ツ瀬川	放棄水田	2012年1月10日	-	-	0
		宮崎県加江田川	水田	2012年1月11日	-	-	2
H25 (2013)	繁殖期	北海道石狩川	河川敷	2013年5月28・29日	1	0	-
			河川敷	2013年6月19・20日	1	0	-
			河川敷	2013年5月30・31日	1	0	-
		北海道音更町	牧草地	2013年6月21日	0	0	-
			小麦畑	2013年5月30・31日	0	0	-
			小麦畑	2013年6月21・22日	3	0	-
	非繁殖期	鹿児島県肝属川	河川敷	2013年11月11日	-	-	0
		福岡県宗像市	水田	2013年11月12日	-	-	0
		熊本県阿蘇市	放牧草地	2013年11月13日	-	-	0
		宮崎県一ツ瀬川	放棄水田	2013年11月14日	-	-	0
		宮崎県加江田川	水田	2013年11月14日	-	-	0
千葉県野田市	水田	2013年12月24日	-	-	0		

 : 繁殖期に確認した

 : 非繁殖期に確認した

(2) ヤマドリ (*Syrmaticus soemmerringii*)

## 【レッドデータブック】

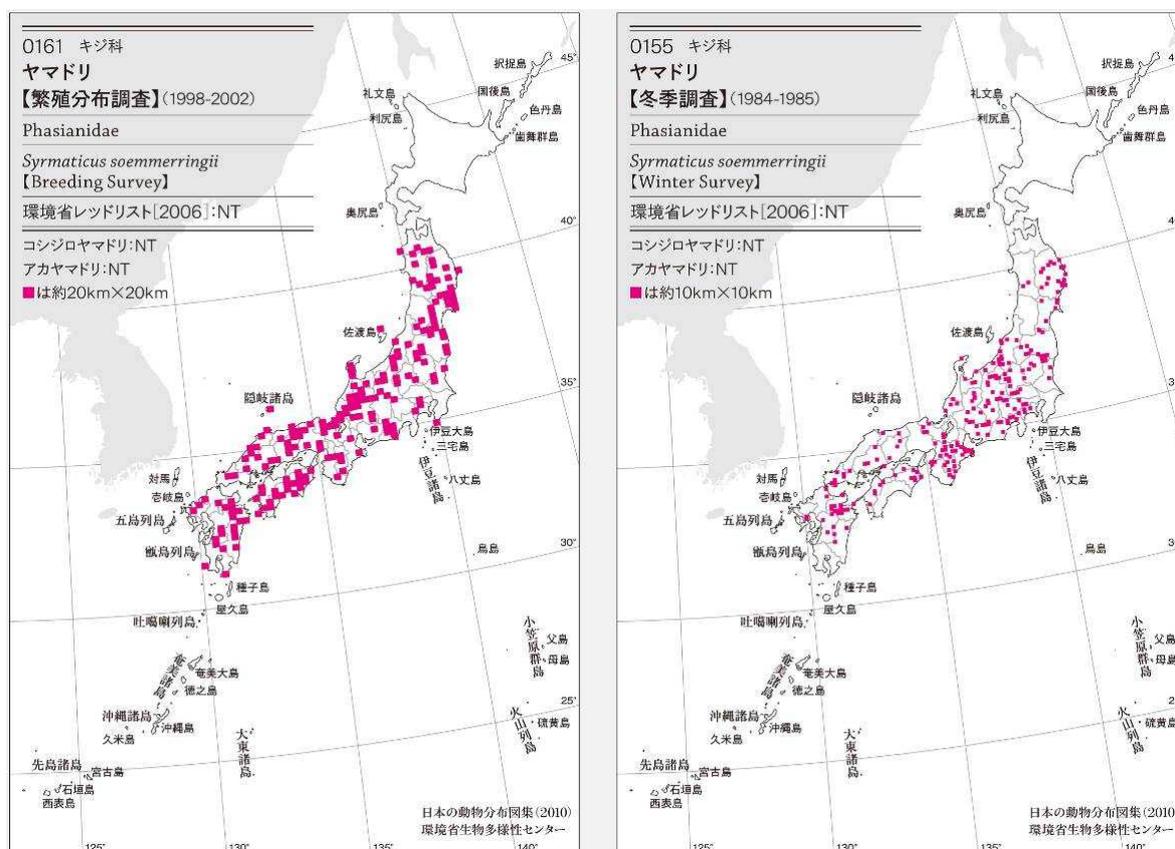
環境省：NT

地方版：(25 都府県)

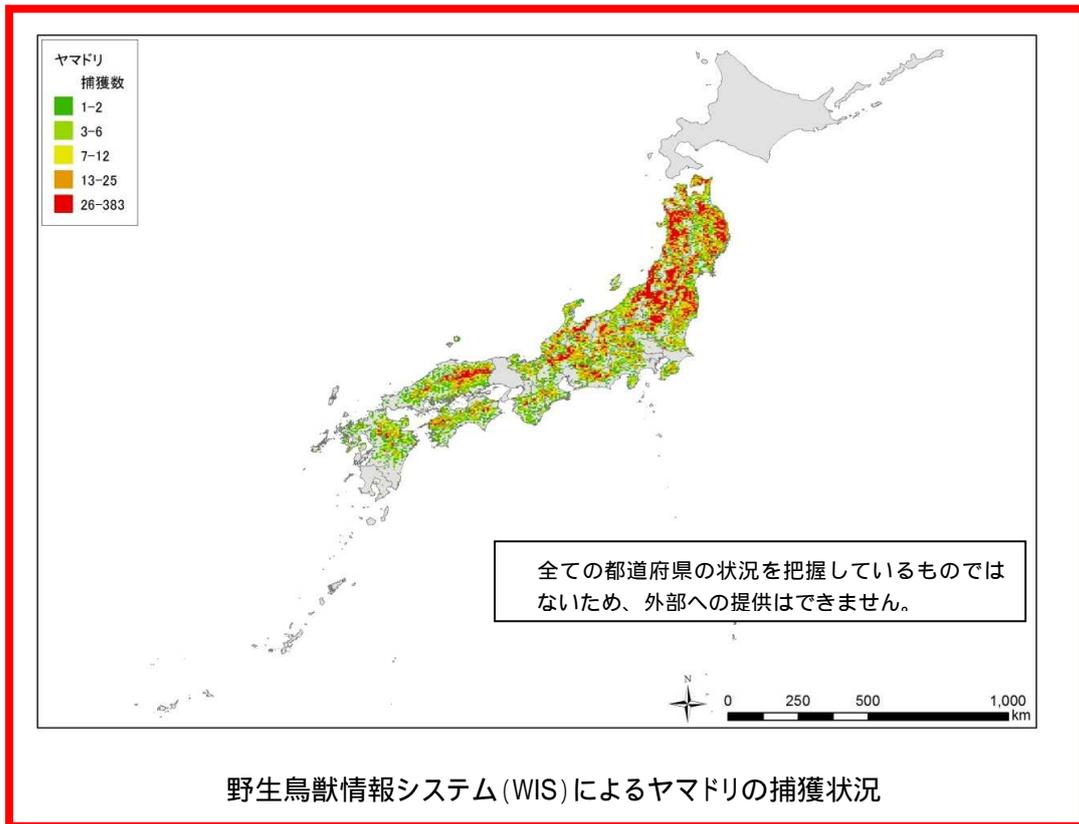
北海道・東北(2 県)	青森県(C)・岩手県(D)
関東・甲信越・北陸 (6 都県)	栃木県(C)・千葉県(C)・東京都(北多摩:DD、南多摩:EN、西多摩:VU)・神奈川県(絶滅危惧 類)・静岡県(NT)・石川県(NT)
中部・東海・近畿 (7 府県)	岐阜県(準絶滅危惧)・三重県(NT)・滋賀県(その他重要種)・京都府(準絶滅危惧種)・大阪府(準絶滅危惧)・兵庫県(要注目種)・和歌山県(準絶滅危惧)
中国・四国(4 県)	山口県(EN)・香川県(NT)・愛媛県(NT)・高知県(DD)
九州・沖縄(6 県)	福岡県(絶滅危惧 類)・佐賀県(情報不足種)・長崎県(NT)・熊本県(NT)・大分県(NT)・宮崎県(NT)

## 【生息状況等】

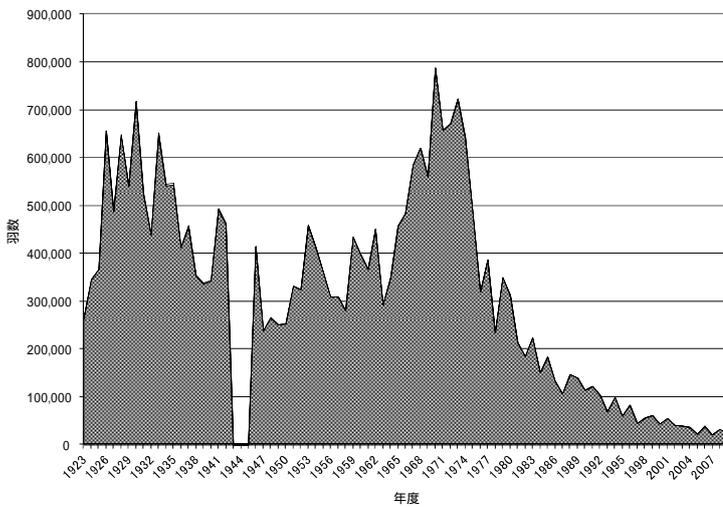
本州から九州に分布する日本の固有種。



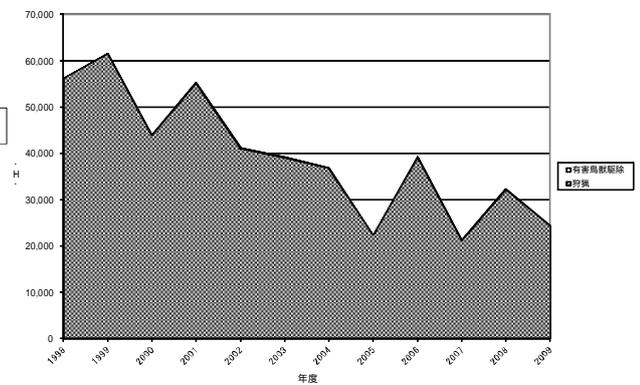
第6回基礎調査(左)及び第3回基礎調査(右)分布図(ヤマドリ)



野生鳥獣情報システム (WIS) によるヤマドリの捕獲状況

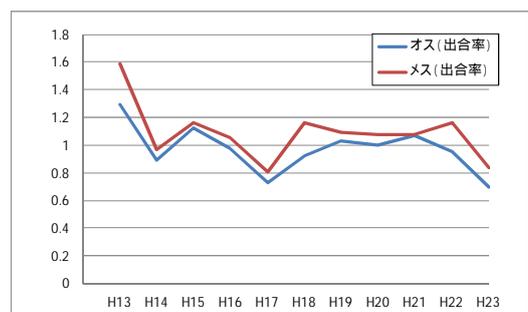


ヤマドリの狩猟個体数と有害捕獲数の推移



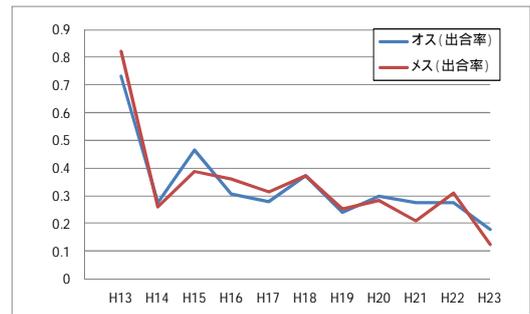
近年の推移

年度	ヤマドリ					オス(出 合率)	メス(出 合率)
	聴取人数 (人)	オス (羽)	メス (羽)	性別不明	合計 (羽)		
H13	310	400	492	54	948	1.290323	1.587097
H14	253	225	245	25	495	0.889328	0.968379
H15	468	525	544	48	1,117	1.121795	1.162393
H16	235	229	247	17	493	0.974468	1.051064
H17	317	231	255	20	506	0.728707	0.804416
H18	436	402	507	22	931	0.922018	1.162844
H19	452	465	495	44	1004	1.028761	1.095133
H20	494	493	531	26	1050	0.997976	1.074899
H21	309	331	332	25	688	1.071197	1.074434
H22	387	369	449	15	833	0.953488	1.160207
H23	320	223	268	26	517	0.696875	0.8375



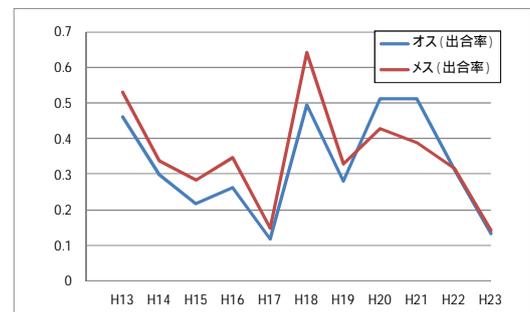
秋田県におけるヤマドリ出合数調査における出合率

年度	ヤマドリ					オス(出 合率)	メス(出 合率)
	聴取人数 (人)	オス (羽)	メス (羽)	性別不明	合計 (羽)		
H13	483	354	396	95	845	0.732919	0.819876
H14	296	82	77	59	218	0.277027	0.260135
H15	377	175	146	50	371	0.464191	0.387268
H16	298	91	107	50	248	0.305369	0.35906
H17	292	81	92	18	191	0.277397	0.315068
H18	297	111	111	10	232	0.373737	0.373737
H19	336	81	84	30	195	0.241071	0.25
H20	332	99	94	38	231	0.298193	0.283133
H21	214	59	45	24	128	0.275701	0.21028
H22	210	58	65	11	134	0.27619	0.309524
H23	208	37	26	18	81	0.177885	0.125



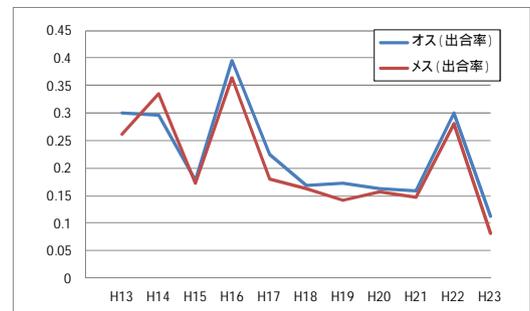
埼玉県におけるヤマドリ出合数調査における出合率

年度	ヤマドリ					オス(出 合率)	メス(出 合率)
	聴取人数 (人)	オス (羽)	メス (羽)	性別不明	合計 (羽)		
H13	424	195	225	72	492	0.459906	0.53066
H14	412	123	139	31	293	0.298544	0.337379
H15	436	94	123	42	259	0.215596	0.28211
H16	373	98	129	28	255	0.262735	0.345845
H17	353	42	52	27	121	0.11898	0.147309
H18	333	164	214	38	416	0.492492	0.642643
H19	355	99	117	38	254	0.278873	0.329577
H20	322	165	138	57	360	0.512422	0.428571
H21	276	141	107	42	290	0.51087	0.387681
H22	262	82	83	18	183	0.312977	0.316794
H23	411	54	58	25	137	0.131387	0.141119



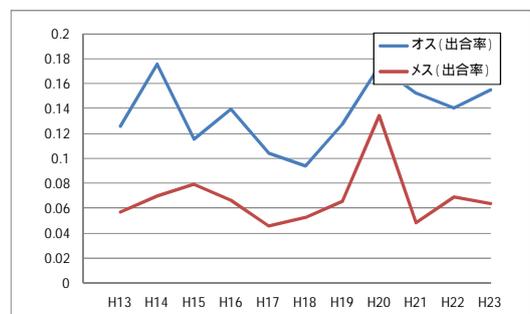
新潟県におけるヤマドリ出合数調査における出合率

年度	ヤマドリ					オス(出 合率)	メス(出 合率)
	聴取人数 (人)	オス (羽)	メス (羽)	性別不明	合計 (羽)		
H13	742	222	194	77	493	0.299191	0.261456
H14	777	230	260	81	571	0.29601	0.33462
H15	720	128	124	42	294	0.177778	0.172222
H16	674	266	245	90	601	0.394659	0.363501
H17	807	182	145	80	407	0.225527	0.179678
H18	711	120	116	35	271	0.168776	0.16315
H19	682	117	97	38	252	0.171554	0.142229
H20	704	114	110	36	260	0.161932	0.15625
H21	771	122	114	45	281	0.158236	0.14786
H22	788	237	221	43	501	0.300761	0.280457
H23	788	88	64	40	192	0.111675	0.081218



山口県におけるヤマドリ出合数調査における出合率

年度	ヤマドリ					オス(出 合率)	メス(出 合率)
	聴取人数 (人)	オス (羽)	メス (羽)	性別不明	合計 (羽)		
H13	667	84	38	7	129	0.125937	0.056972
H14	643	113	45	15	173	0.175739	0.069984
H15	658	76	52	12	140	0.115502	0.079027
H16	545	76	36	18	130	0.13945	0.066055
H17	746	78	34	10	122	0.104558	0.045576
H18	1009	95	53	32	180	0.094153	0.052527
H19	729	93	48	19	160	0.127572	0.065844
H20	840	146	113	11	270	0.17381	0.134524
H21	891	136	43	2	181	0.152637	0.04826
H22	622	87	43	14	144	0.139871	0.069132
H23	741	115	47	8	170	0.155196	0.063428



宮崎県におけるヤマドリ出合数調査における出合率

(3) バン (*Gallinula chloropus*)

## 【レッドデータブック】

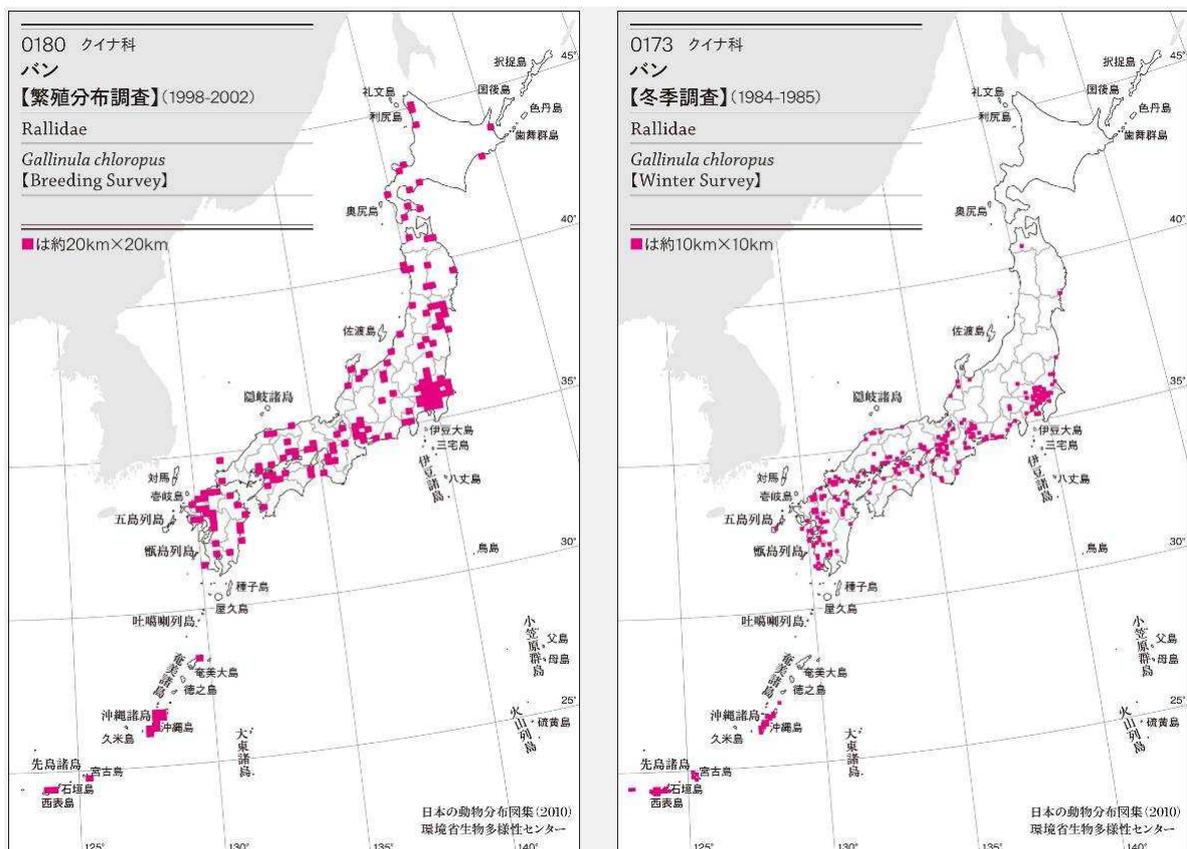
環境省： -

地方版：7都県

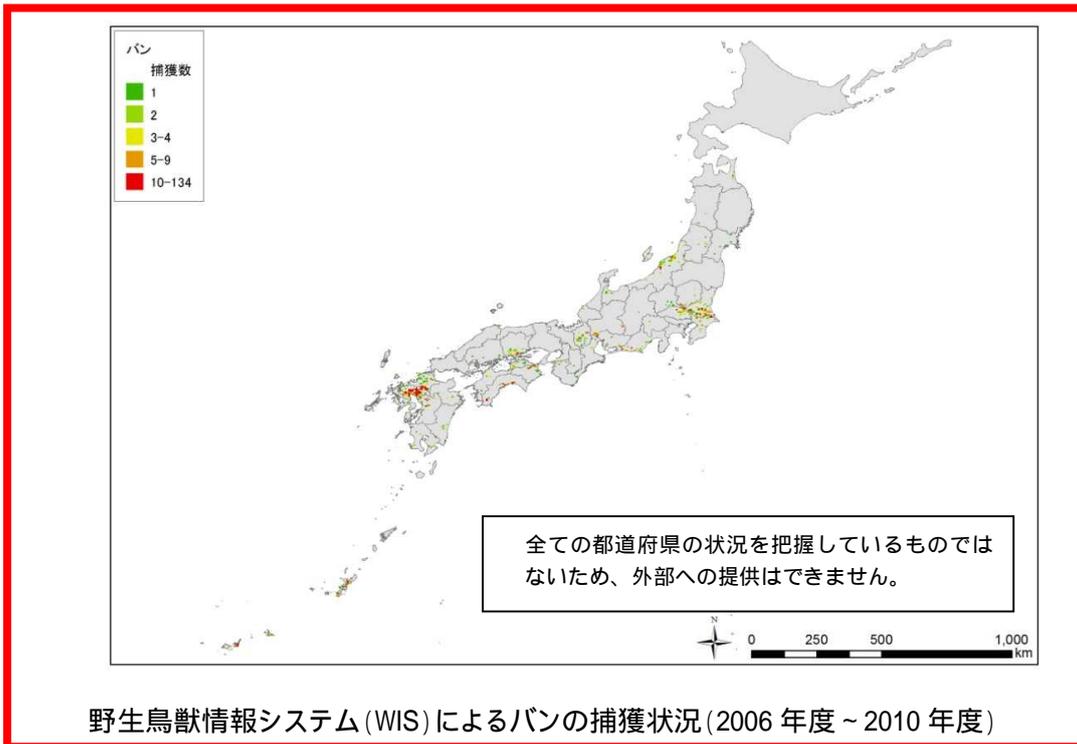
北海道・東北(3県)	青森県(C)・岩手県(D)・福島県(C)
関東・甲信越・北陸 (3都県)	埼玉県(NT)・千葉県(B)・東京都(区部:VU、北多摩: VU、南多摩:VU、西多摩:VU)
中部・東海・近畿(1県)	滋賀県(希少種)
中国・四国	-
九州・沖縄	-

## 【生息状況等】

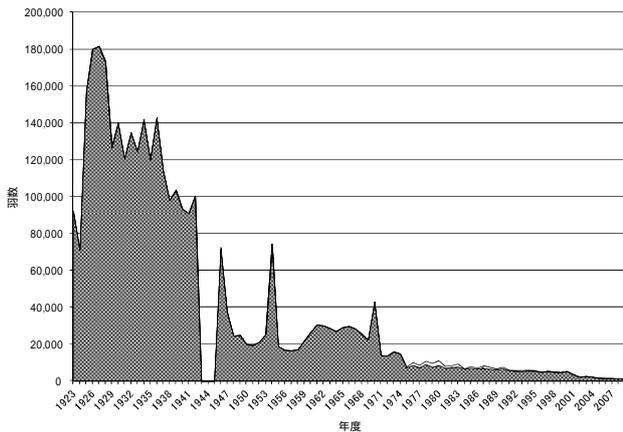
北海道から南西諸島、小笠原諸島に分布、繁殖し、クイナ科の鳥類ではもっとも普通に見られる種類である。冬は暖かい地方に移動するものもいる。



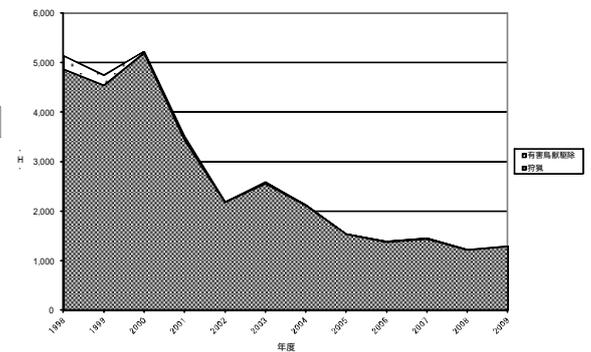
第6回基礎調査(左)及び第3回基礎調査(右)分布図(バン)



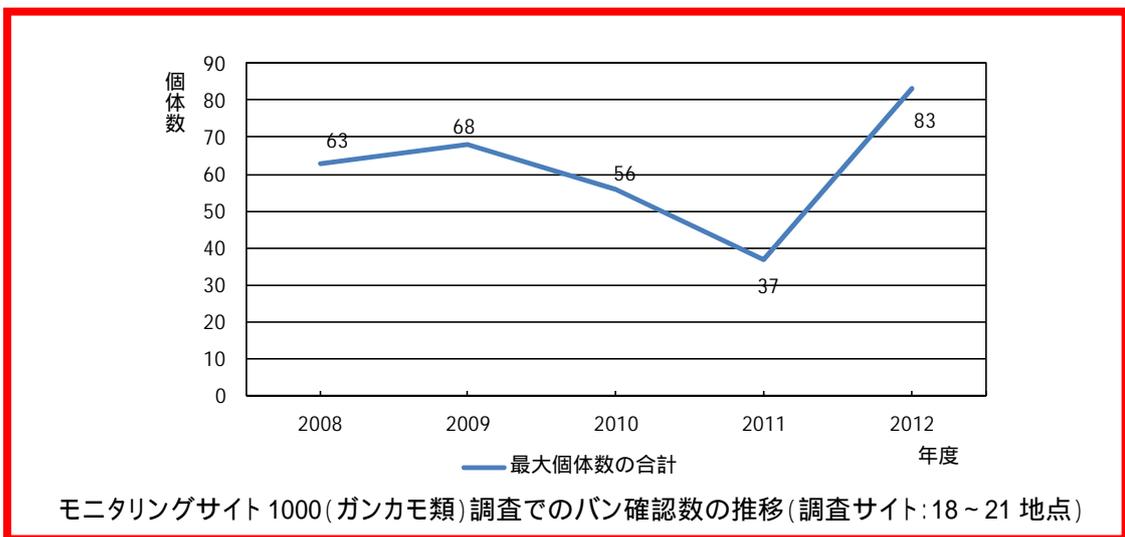
野生鳥獣情報システム (WIS) によるバンの捕獲状況 (2006 年度 ~ 2010 年度)



バンの狩猟個体数と有害捕獲数の推移



近年の推移



(4) ヤマシギ (*Scolopax rusticola*)

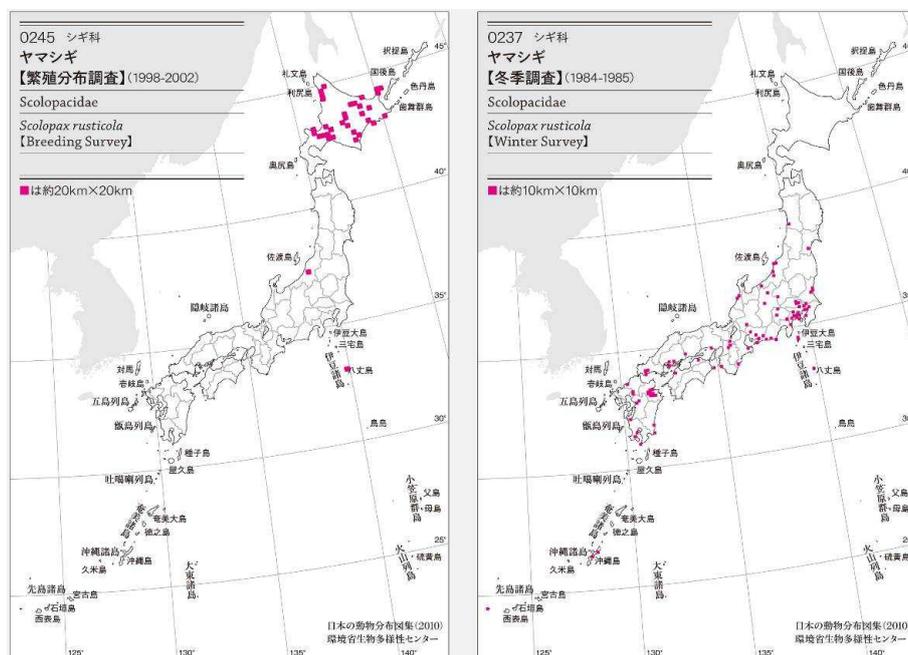
## 【レッドデータブック】

環境省： -

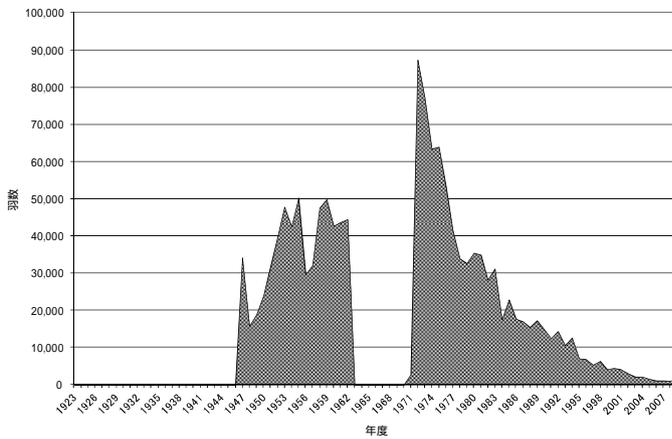
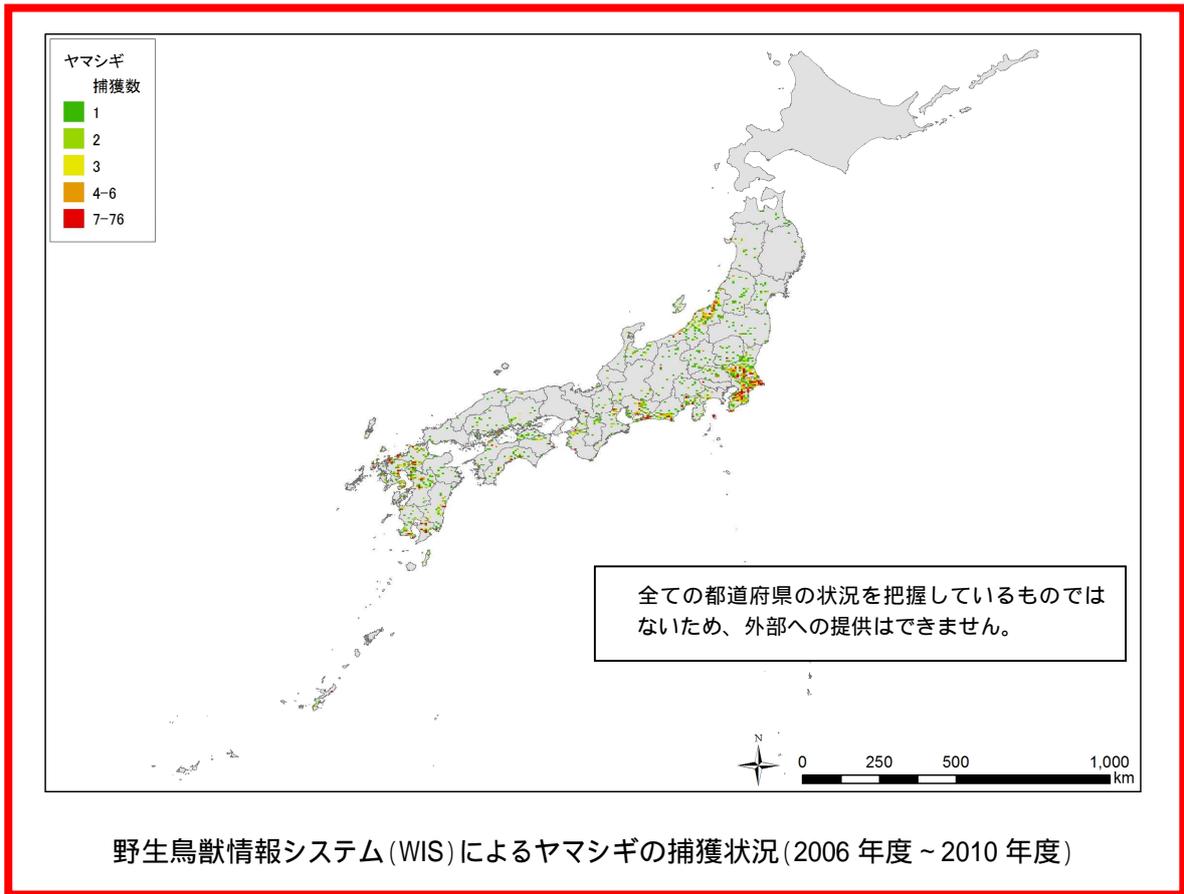
都道府県：25 都府県

北海道・東北(5 県)	青森県(B)・岩手県(C)・秋田県(NT)・山形県(NT)・福島県(NE)
関東・甲信越・北陸(8 都県)	栃木県(C)・群馬県(DD)・埼玉県(NT)・東京都(区部：VU、北多摩：VU、南多摩：VU、西多摩：VU、伊豆：NT)・神奈川県(希少種)・石川県(NT)・福井県(県域準絶滅危惧)・山梨県(DD)・長野県(DD)
中部・東海・近畿(8 府県)	静岡県(DD)・愛知県(NT)・滋賀県(希少種)・京都府(絶滅危惧種)・大阪府(準絶滅危惧)・兵庫県(B)・奈良県(希少種)・和歌山県(絶滅危惧 B 類)
中国・四国(3 県)	山口県(NT)・徳島県(準絶滅危惧)・高知県(NT)
九州・沖縄(1 県)	長崎県(NT)

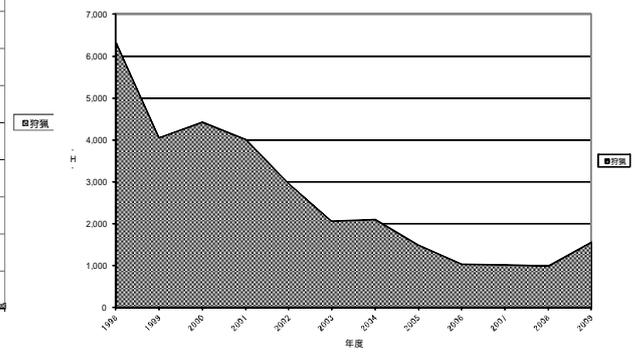
【生息状況等】北海道から本州中部にかけてと、伊豆諸島などで繁殖記録がある。東北地方南部から四国、九州、沖縄にかけての各地で越冬。



第6回基礎調査(左)及び第3回基礎調査(右)分布図(ヤマシギ)



ヤマシギの狩猟個体数の推移



近年の推移

(5) タシギ (*Gallinago gallinago*)

## 【レッドデータブック】

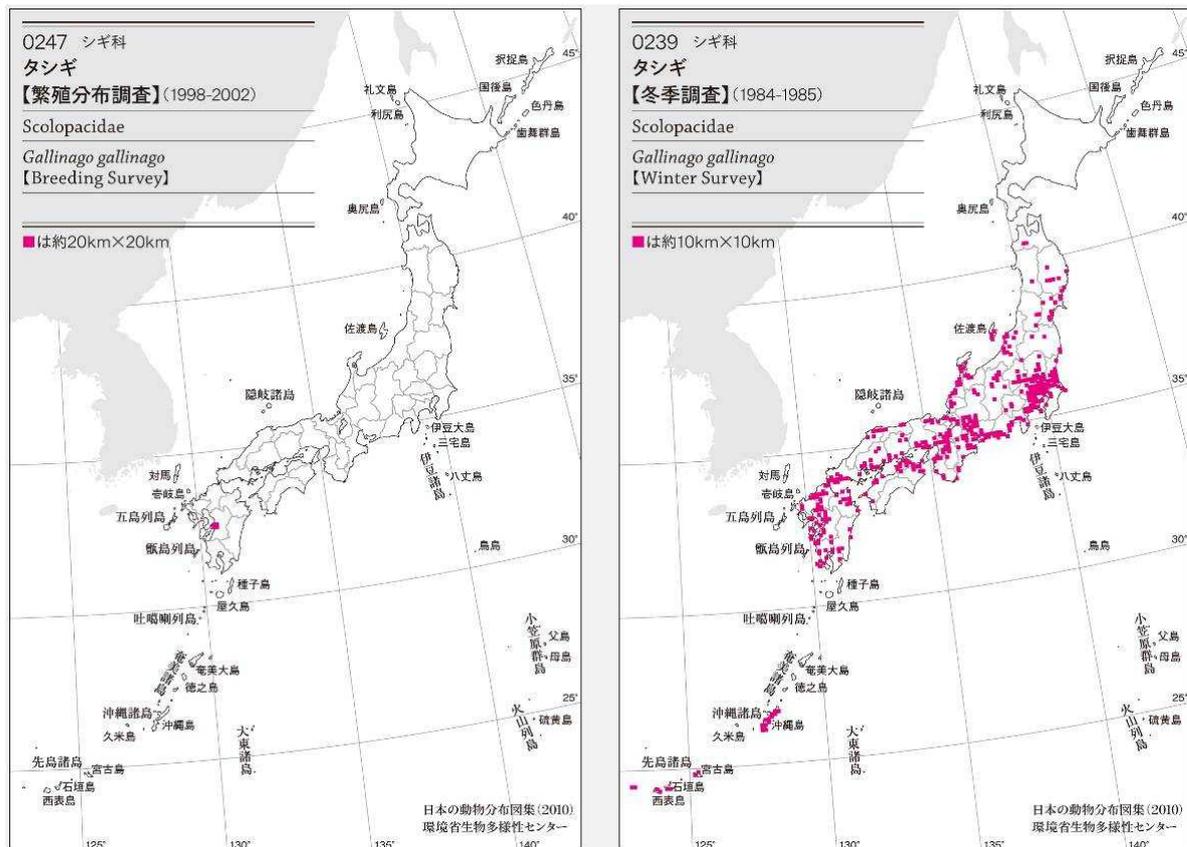
環境省： -

地方版：5都府県

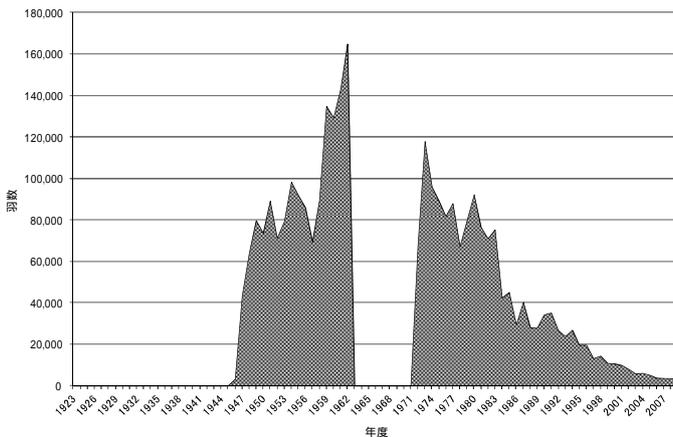
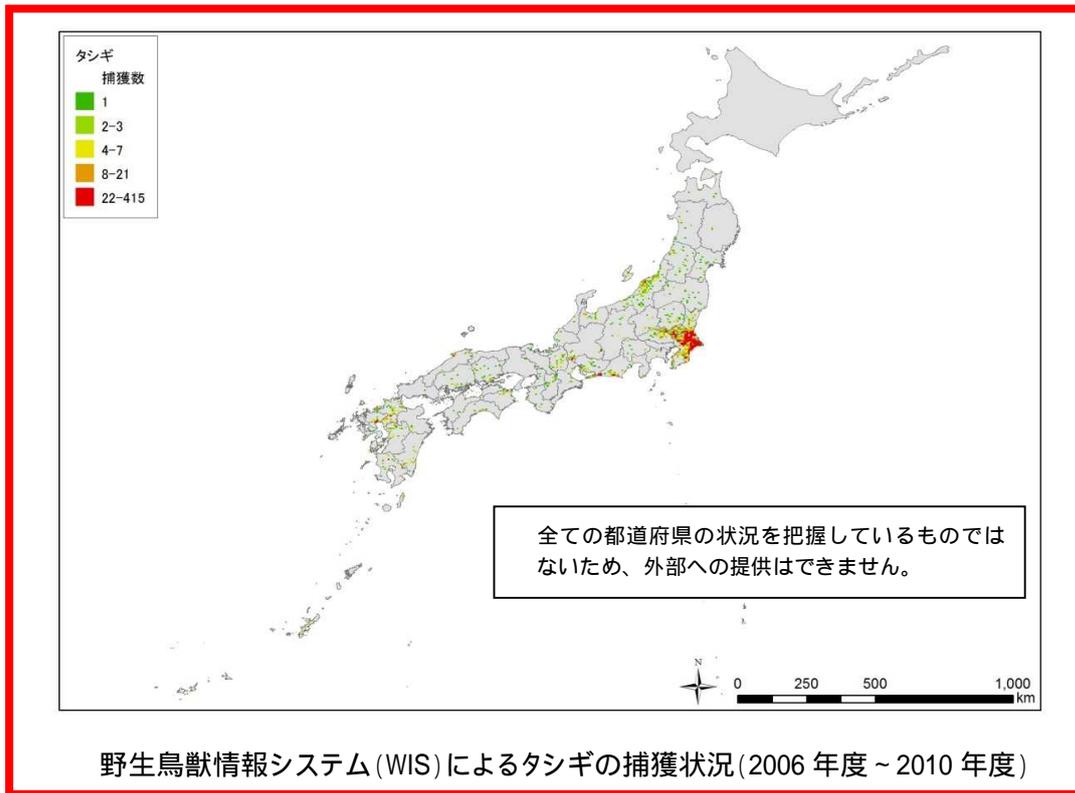
北海道・東北	-
関東・甲信越・北陸 (2都県)	東京都(区部: VU、北多摩: VU、南多摩: VU、西多摩: VU)・ 神奈川県(注目種)
中部・東海・近畿 (3府県)	滋賀県(希少種)・大阪府(準絶滅危惧)・兵庫県(B)・奈良 県(希少種)
中国・四国	-
九州・沖縄	-

## 【生息状況等】

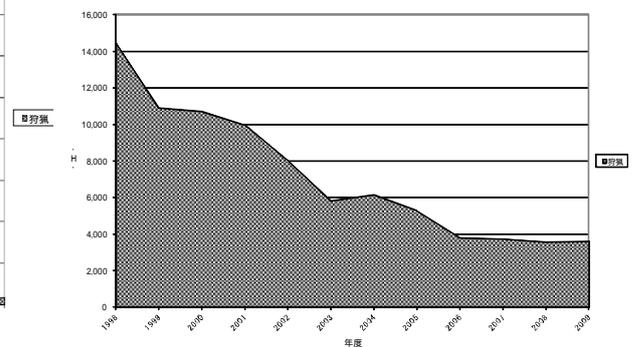
旅鳥または冬鳥として渡来し、琉球諸島、小笠原諸島などの離島を含め広く分布。



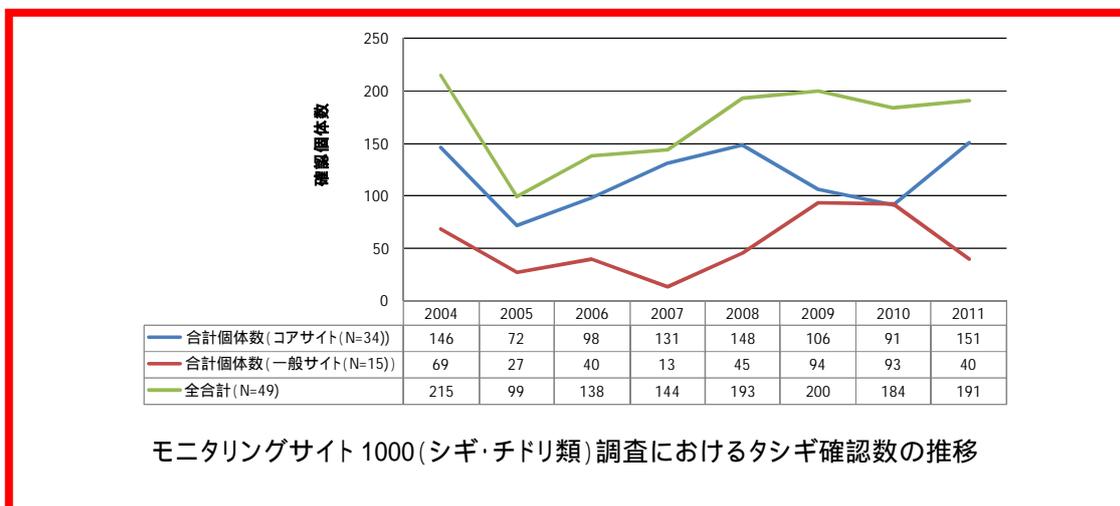
第6回基礎調査(左)及び第3回基礎調査(右)分布図(タシギ)



タシギの狩猟個体数の推移



近年の推移



( 6 ) キツネ (*Vulpes vulpes*)

## 【レッドデータブック】

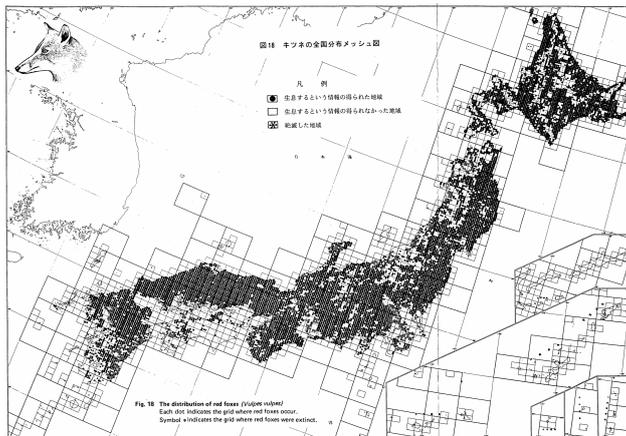
環境省： -

都道府県：

北海道・東北( 1 県)	秋田県 (N)
関東・甲信越・北陸 ( 4 都県)	埼玉県 (RT)・千葉県 (B)・東京都 (区部 : EX、北多摩 : EN)・神奈川県 (準絶滅危惧)
中部・東海・近畿 ( 1 府)	大阪府 (準絶滅危惧)
中国・四国	-
九州・沖縄 ( 3 県)	福岡県 (準絶滅危惧)・長崎県 (NT)・鹿児島県 (絶滅危惧 類)

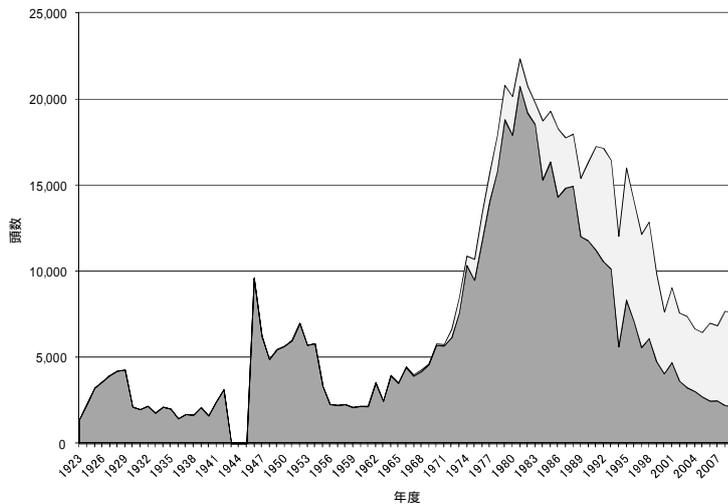
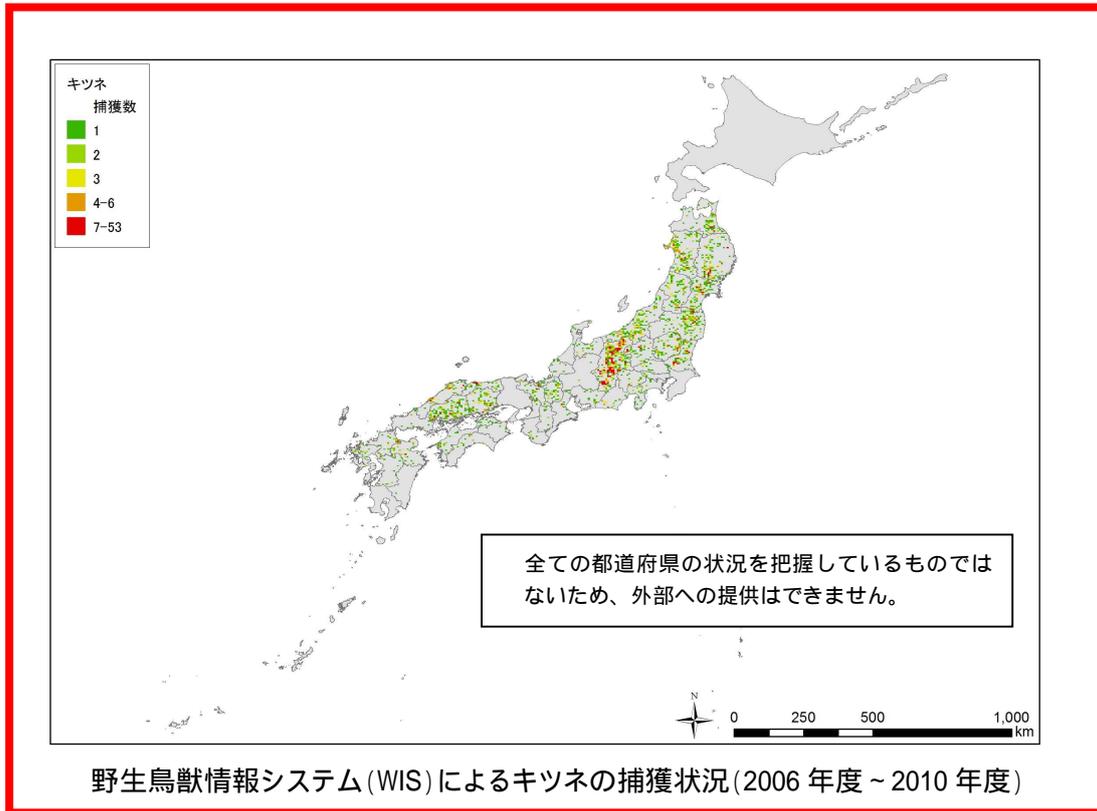
## 【生息状況等】

第 6 回自然環境保全基礎調査によれば、ほぼ全国的に広く分布している。全国での生息区画数 (5km メッシュ) は 11,668 メッシュと多かった。1978 年と比較すると 1.2 倍と微増している状況であった。

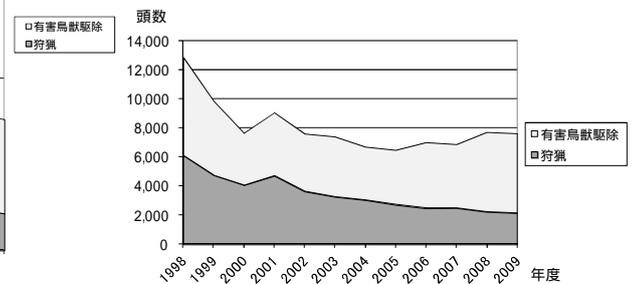


## キツネの分布

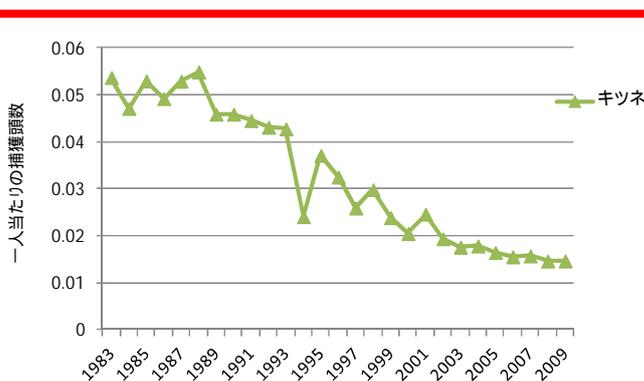
(第 2 回基礎調査 (左) 及び第 6 回基礎調査 (右))



キツネの狩猟個体数と有害捕獲数の推移



近年の推移



近年の狩猟登録者一人当たり捕獲数

狩猟者の動向の変化	
	一人当たりの捕獲数
1983年	0.054頭
2009年	0.015頭
変動幅	-0.039
	捕獲意欲    出猟状況
狩猟免許取得当時	31.3%    16.9%
現在(2013年)	11.7%    6.0%
変動幅	-19.6    -10.9

(7) テン (*Martes melampus*)

## 【レッドデータブック】

環境省：NT（亜種ツシマテンはNTであるが、ツシマテンは狩猟獣から除かれている）

地方版：6都県

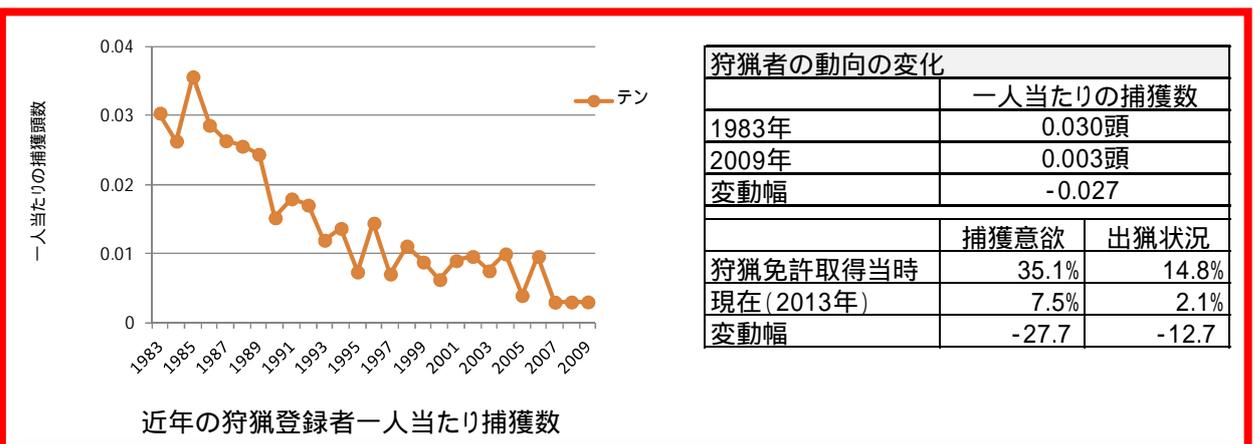
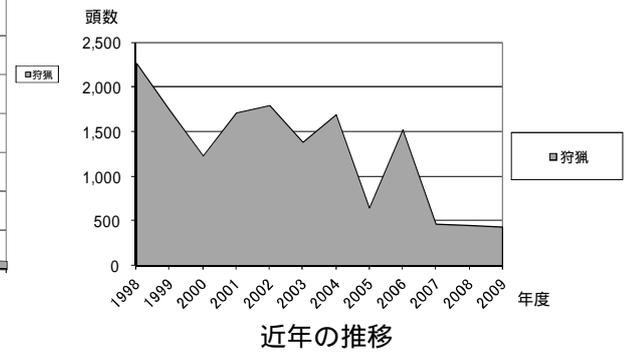
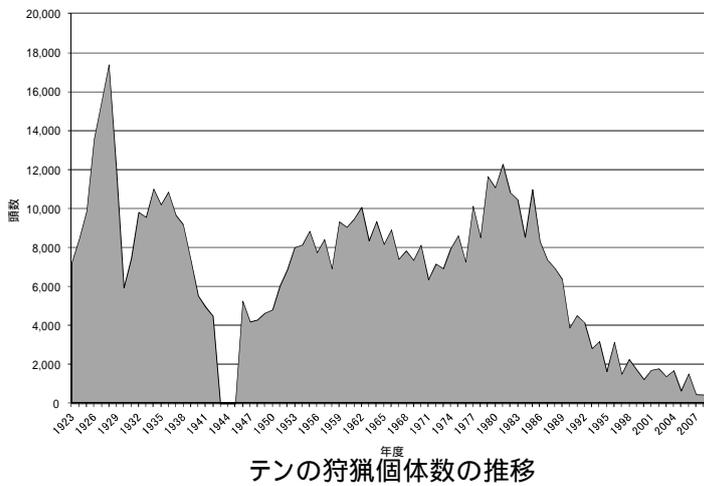
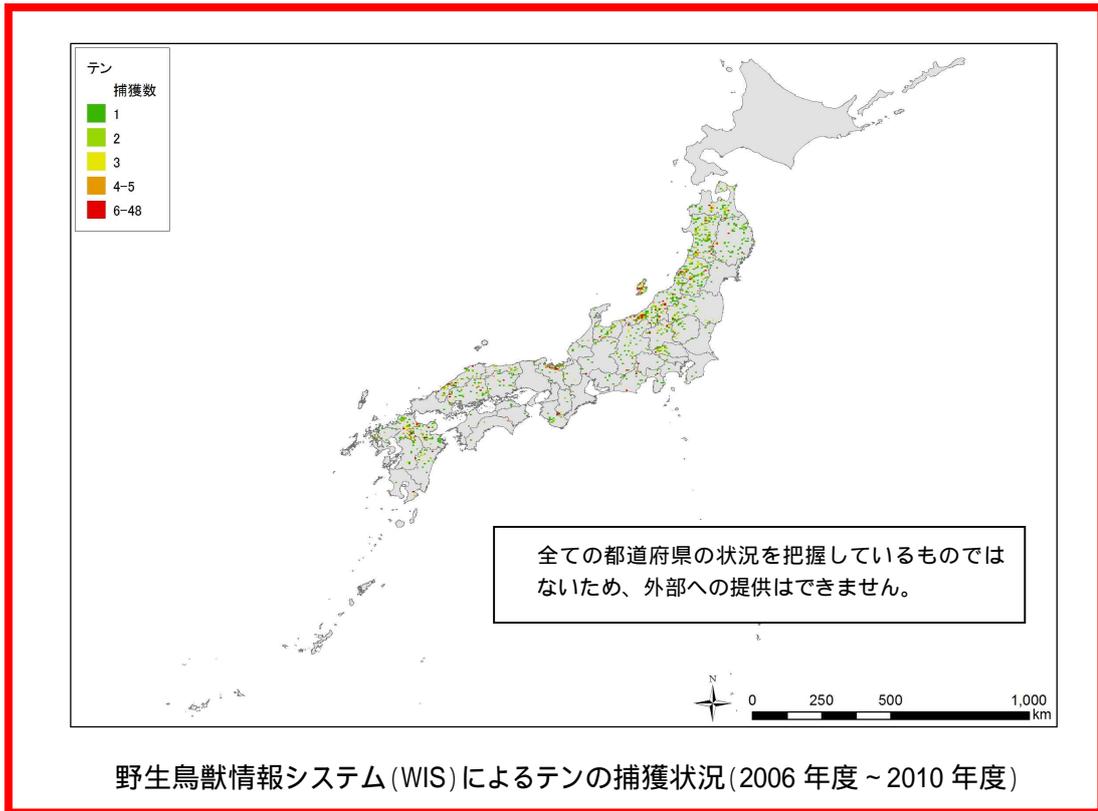
北海道・東北	-
関東・甲信越・北陸 (4都県)	群馬県(準絶滅危惧)・埼玉県(RT)・千葉県(D)・東京都(区部：EX)
中部・東海・近畿 (1県)	愛知県(NT)
中国・四国	-
九州・沖縄(1県)	鹿児島県(分布特性上重要)

## 【生息状況等】

北海道や関東地方の平野部などでは疎であるが、ほぼ全国的に分布が見られる。



テンの分布(第6回基礎調査)



( 8 ) イタチ ( オス ) (*Mustela itatsi*)

## 【レッドデータブック】

環境省： -

地方版：17 都府県

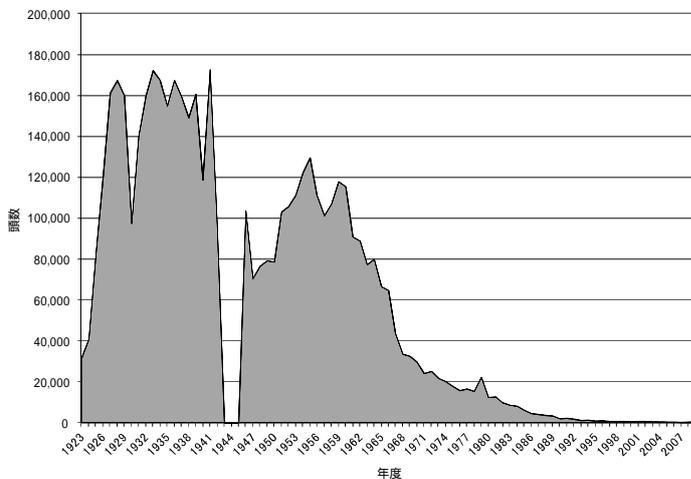
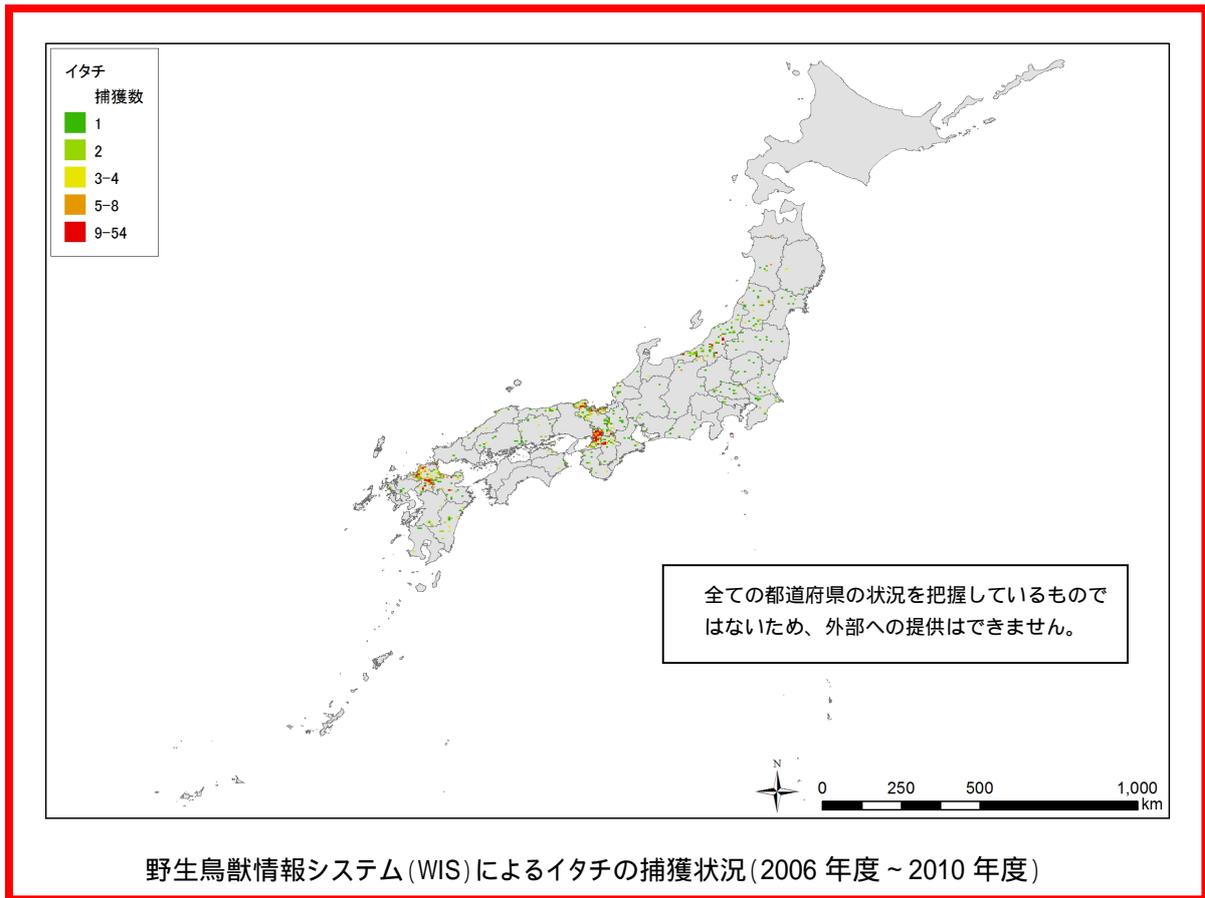
北海道・東北	-
関東・甲信越・北陸 ( 4 都県 )	群馬県 ( DD )・埼玉県 ( RT )・東京都 ( 区部 : NT、北多摩 : NT )・ 神奈川県 ( 準絶滅危惧 )
中部・東海・近畿 ( 1 府 )	大阪府 ( 情報不足 )
中国・四国 ( 6 県 )	鳥取県 ( NT )・島根県 ( NT )・岡山県 ( 情報不足 )・広島県 ( 準 絶滅危惧 )・山口県 ( NT )・香川県 ( NT )
九州・沖縄 ( 6 県 )	福岡県 ( 準絶滅危惧 )・佐賀県 ( 絶滅危惧 類種 )・熊本県 ( NT )・大分県 ( NT )・宮崎県 ( DD )・鹿児島県 ( 亜種コイタ チ : 情報不足・亜種ニホンイタチ : 分布特性上重要 )

## 【生息状況等】

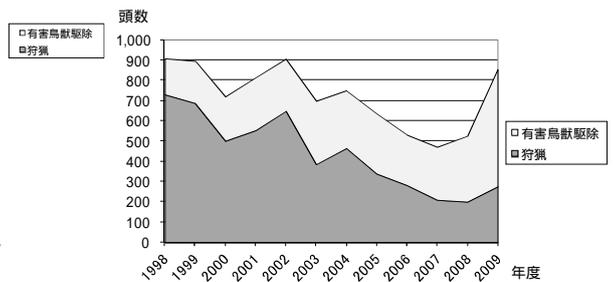
北海道では疎であるが、本州、四国、九州と周辺の島嶼に分布が見られ、ほぼ全国的に生息している。



イタチの分布(第6回基礎調査)



イタチの狩猟個体数と有害鳥獣捕獲数の推移



近年の推移



狩猟者の動向の変化	
	一人当たりの捕獲数
1983年	0.025頭
2009年	0.002頭
変動幅	-0.023
	捕獲意欲
狩猟免許取得当時	16.6%
現在(2013年)	3.2%
変動幅	-13.4
	出猟状況
狩猟免許取得当時	8.5%
現在(2013年)	0.9%
変動幅	-7.6

( 9 ) アナグマ (*Meles meles*)

## 【レッドデータブック】

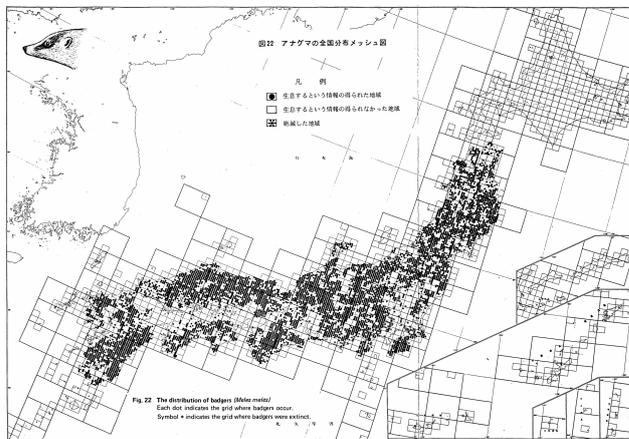
環境省： -

地方版：13 都府県

北海道・東北	-
関東・甲信越・北陸 ( 5 都県 )	栃木県 ( 要注目 ) ・群馬県 ( DD ) ・埼玉県 ( RT ) ・千葉県 ( C ) ・ 東京都 ( 区部 : EX、北多摩 : NT )
中部・東海・近畿 ( 3 府県 )	愛知県 ( DD ) ・大阪府 ( 準絶滅危惧 ) ・兵庫県 ( C )
中国・四国 ( 2 県 )	山口県 ( NT ) ・香川県 ( NT )
九州・沖縄 ( 3 県 )	長崎県 ( NT ) ・熊本県 ( CS ) ・鹿児島県 ( 分布特性上重要 )

## 【生息状況等】

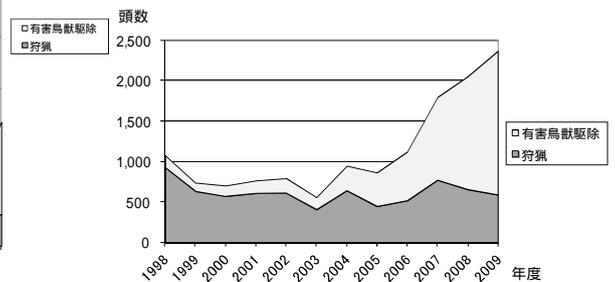
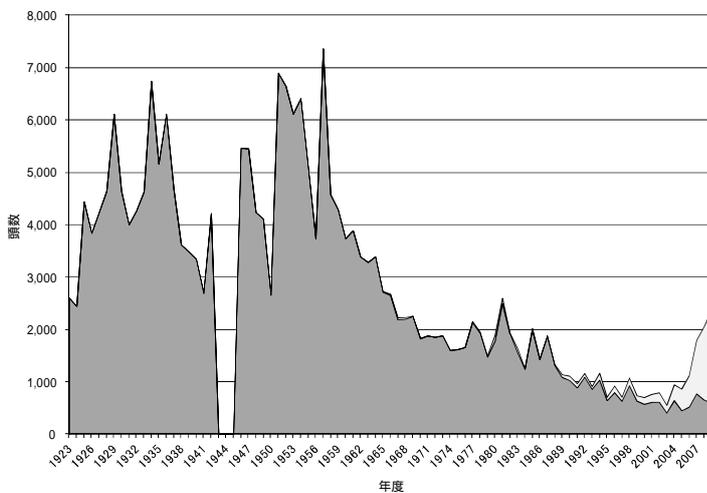
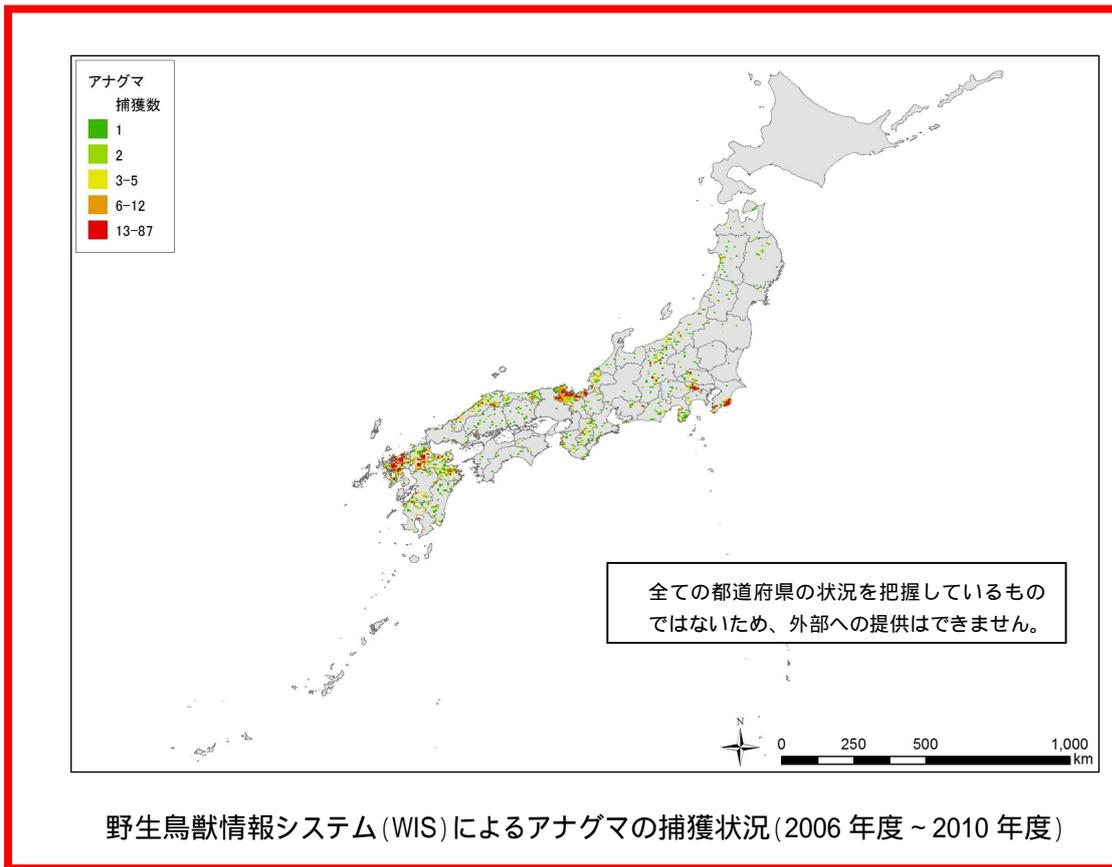
第 6 回自然環境保全基礎調査によれば、本州、四国、九州のほぼ全域に分布し、北海道の他、佐渡、伊豆諸島、隠岐、瀬戸内諸島の大部分など、島嶼には分布していない。全国での生息区画数 ( 5km メッシュ ) は 5,062 メッシュで、1978 年と比較すると減少している状況であった。特に、東北や近畿地方では減少が目立った。



## アナグマの分布

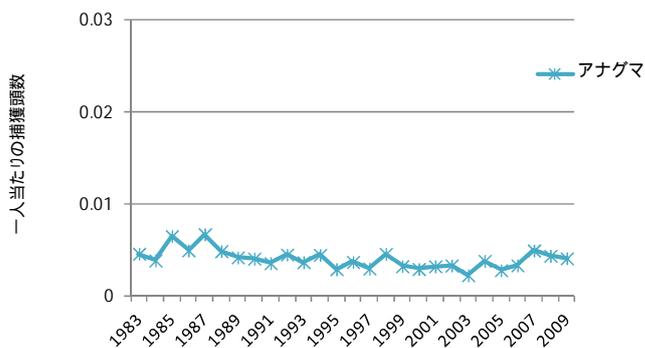
( 第 2 回基礎調査 ( 左 ) 及び第 6 回基礎調査 ( 右 ) )





アナグマの狩猟個体数と有害鳥獣捕獲数の推移

近年の推移



近年の狩猟登録者一人当たり捕獲数

狩猟者の動向の変化	
一人当たりの捕獲数	
1983年	0.005頭
2009年	0.004頭
変動幅	0.000
捕獲意欲	
狩猟免許取得当時	30.1%
現在(2013年)	16.0%
変動幅	-14.1
出猟状況	
狩猟免許取得当時	15.1%
現在(2013年)	8.7%
変動幅	-6.4

(10) シマリス (*Tamias sibiricus*)

## 【レッドデータブック】

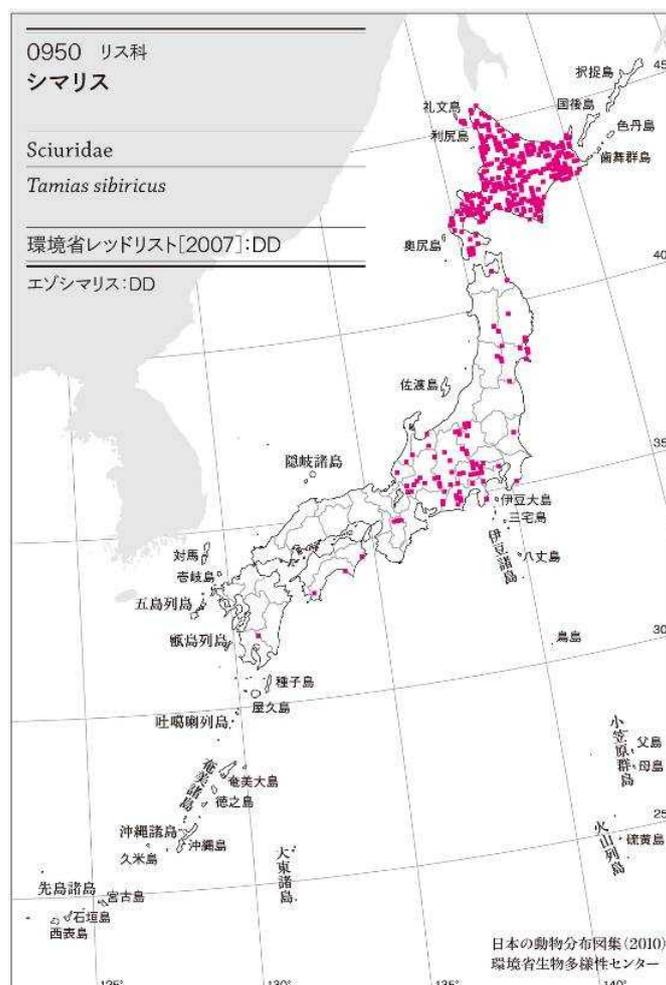
環境省：DD (亜種エゾシマリス)

地方版： -

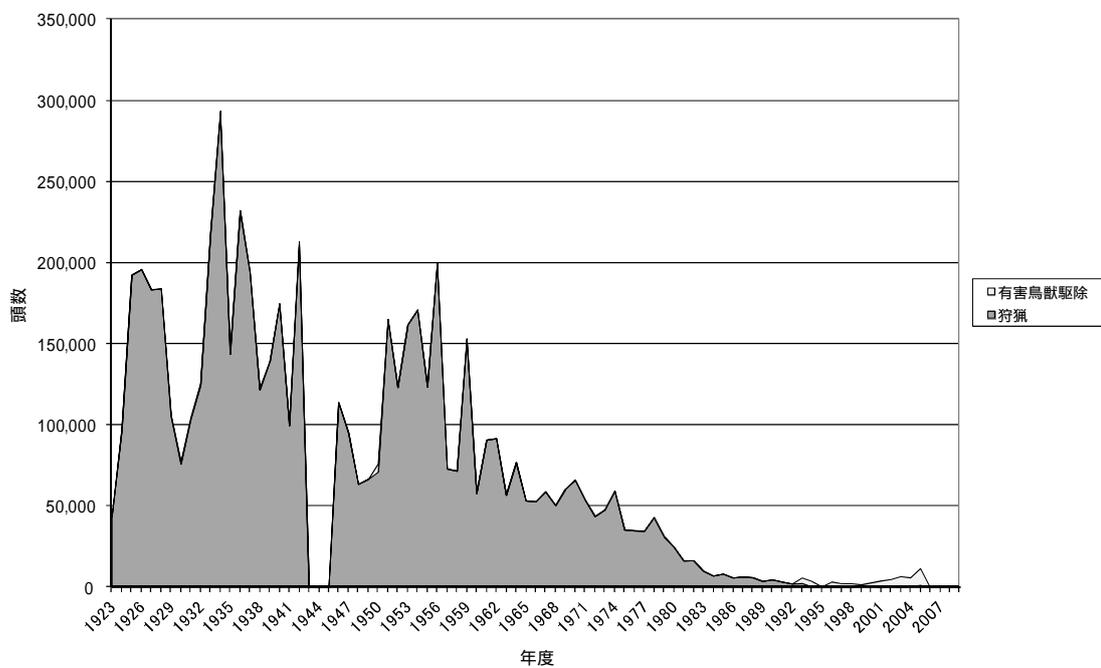
北海道・東北	-
関東・甲信越・北陸	-
中部・東海・近畿	-
中国・四国	-
九州・沖縄	-

## 【生息状況等】

北海道に生息するのは亜種エゾシマリスであるが、本州などに見られるのは、ペットとして飼育されていた大陸産のシマリスが野生化したものと考えられている。



シマリスの分布(第6回基礎調査)



リス類の狩猟個体数と有害鳥獣捕獲数の推移

(11) ノウサギ (*Lepus brachyurus*)

## 【レッドデータブック】

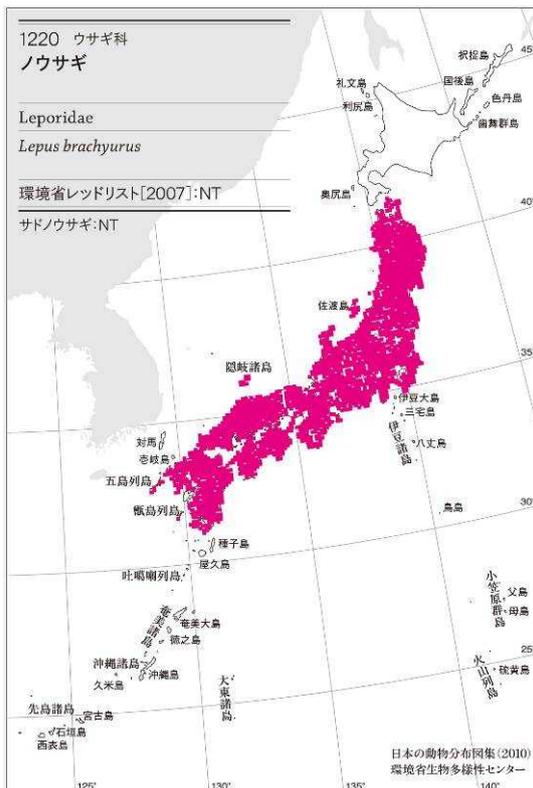
環境省：NT (亜種サドノウサギ)

地方版：5 都県

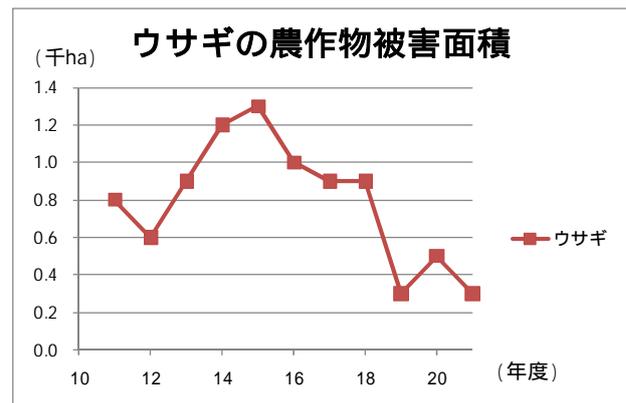
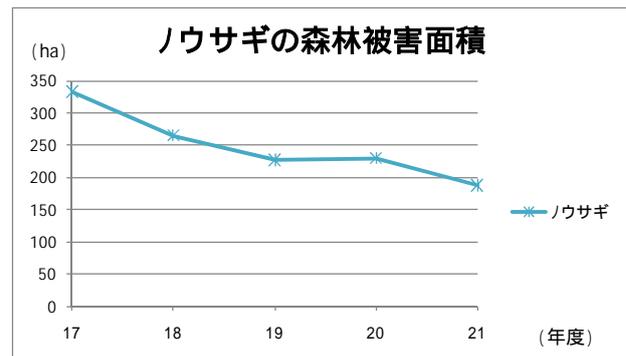
北海道・東北	-
関東・甲信越・北陸 (3 都県)	埼玉県 (RT)・東京都 (区部：DD、北多摩：VU)・新潟県 (NT)
中部・東海・近畿	-
中国・四国 (1 県)	山口県 (亜種キュウシュウノウサギ：NT、亜種トウホクノウサギ：DD)
九州・沖縄 (1 県)	鹿児島県 (分布特性上重要)

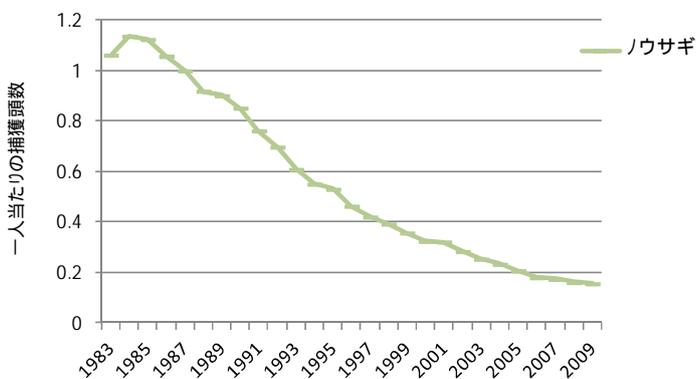
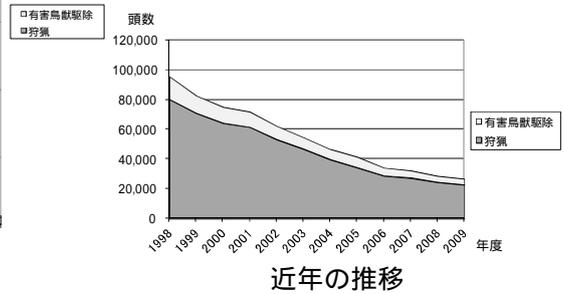
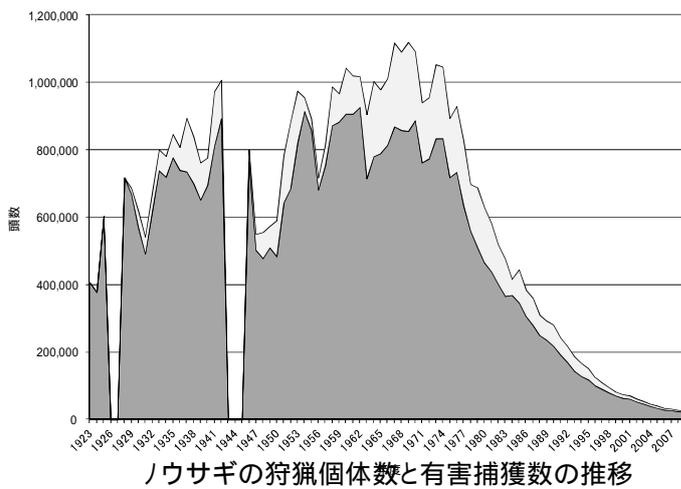
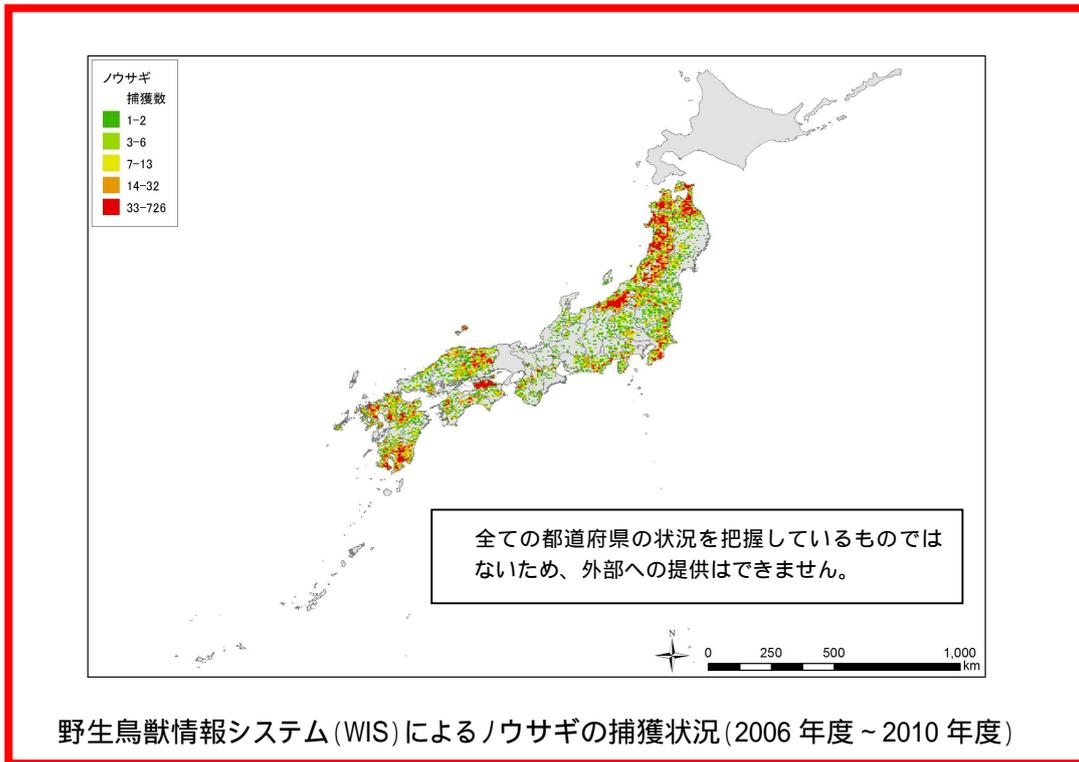
## 【生息状況等】

本州、四国、九州の他、いくつかの島嶼部で広く分布が確認されている。



ノウサギの分布





狩猟者の動向の変化		
一人当たりの捕獲数		
1983年	1.061頭	
2009年	0.155頭	
変動幅	-0.906	
狩猟者の動向		
	捕獲意欲	出猟状況
狩猟免許取得当時	64.2%	52.5%
現在(2013年)	22.3%	20.0%
変動幅	-42.0	-32.5